

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成27年度)

施設 の 名 称	宮城県第二総合運動場
指 定 管 理 者 の 名 称	宮城県スポーツ振興財団・ミズノグループ
施 設 所 管 部 課 ( 室 )	教育庁 スポーツ健康課

## 1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成18年 4月 ~ 平成21年 3月	指定管理者	財団法人 宮城県スポーツ振興財団	
平成21年 4月 ~ 平成24年 3月	指定管理者	財団法人 宮城県スポーツ振興財団	
平成24年 4月 ~ 平成29年 3月	指定管理者	宮城県スポーツ振興財団・ミズノグループ	

(注)管理形態欄には, 直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

## 2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	宮城県スポーツ振興財団・ミズノグループ
	所在地	宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1
指 定 期 間	平成 24年4月 1日 ~ 平成29年3月31日 ( 5か年)	
募 集 方 法	■ 公募 □ 非公募	

## 3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	宮城県第二総合運動場	
所 在 地	宮城県仙台市太白区根岸町15-1	
設 置 年 月	昭和56年 4月	
根 拠 条 例 等	宮城県総合運動場条例	
設 置 目 的	スポーツの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため。	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	27,319.52㎡
	構 造	建築物
	内 容	宮城県武道館、宮城県弓道場、宮城県クライミングウォール、宮城県合宿所
開 館 ( 所 ) 日	年末年始(12/29~翌1/3日迄)及び毎月1,3,5月曜(休館日)を除く毎日	
開 館 ( 所 ) 時 間	午前9時00分~午後9時00分/日・祝日午前9時~午後5時	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	1 本施設の管理運営業務 2 本施設の使用許可申請の受付及び許可並びに利用料金の収受に関する業務 3 本施設の使用の制限及び入場の拒否等に関する業務 4 本施設の機械設備の操作・日常点検業務 5 本施設の施設・設備、物品及び敷地の維持管理業務 6 その他本施設の管理運営業務に関して宮城県教育委員会が必要と認める業務	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	■ 有 □ 無
	利 用 料 金 の 名 称	施設利用料

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
開館(所)日数	331 日	331 日	334 日	100.9%	100.9%
延べ利用者数	96,475 人	96,475 人	96,705 人	100.2%	100.2%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
武道館	59,777 人	59,777 人	58,369 人	97.6%	97.6%
弓道場	22,879 人	22,879 人	22,108 人	96.6%	96.6%
合宿所	3,655 人	3,655 人	4,579 人	125.3%	125.3%
クライミングウォール	776 人	776 人	255 人	32.9%	32.9%
運動場来場者(無料観客・見学)	9,388 人	9,388 人	11,394 人	121.4%	121.4%
合 計	96,475 人	96,475 人	96,705 人	100.2%	100.2%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
県指定管理料	60,171	60,685	60,171	100.0%	99.2%
利用料金収入	12,030	12,519	13,785	114.6%	110.1%
その他	1,509	1,738	1,728	114.5%	99.4%
収入計 (a)	73,710	74,942	75,684	102.7%	101.0%

(2) 支出

人件費	30,965	28,853	28,785	93.0%	99.8%
施設管理費	34,025	31,839	36,522	107.3%	114.7%
事業運営費	8,720	6,950	7,933	91.0%	114.1%
その他				#DIV/0!	#DIV/0!
支出計 (b)	73,710	67,642	73,240	99.4%	108.3%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	7,300	2,444	#DIV/0!	33.5%
前期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!
次期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

6. 評価対象年度(平成27年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
①管理運営体制	<p>場長以下7名体制とし、財団総務部、事業推進部、今期コンソーシアムを構成して4年目となるミズノと連携し、貸館事業や自主事業、施設管理業務を行った。</p> <p>体育施設に勤務するにあたり、必要な専門知識、技能について研修会への派遣等により習得を図った。</p>	<p>○県担当課、財団本体、コンソーシアムグループ、関係各所との連携を取ることで円滑な管理運営業務を遂行することができた。</p> <p>○施設に勤務するものとしての心得、必要な知識や技能について習得を図ることにより効果的管理運営を遂行できた。</p>	A	<p>適切な人員配置や、各種研修の実施により、効果的な管理運営体制が図られている。</p>	A
人員体制	<p>正規 5 人 非正規 2 人</p>				
②施設・設備の維持管理業務の実施	<p>業者による定期・法定点検だけでなく、施設職員による日常的始業前点検等を実施した。</p> <p>指定管理料に含まれる2,000千円を超える修繕を行い、施設の適切な維持管理と利用者の安全を確保した結果、管理者の瑕疵による事故等はなかった。</p>	<p>○各種点検により、不具合箇所を早期に見出し、速やかに修繕を実施したことにより、重大事故の発生を回避することができた。</p> <p>○施設の情報や状況は、県へ迅速に報告相談する体制をとっており、県と十分に情報の共有を図ることができた。</p>	S	<p>緊急性の高い修繕や利用者の利便性を考慮した修繕を行うことにより適切な施設管理を行っている。</p>	A
③運営業務(ソフト事業等)の実施	<p>県民(一般)を対象としたスポーツ&amp;カルチャー教室として、ヨガやズンバ、おりがみ教室をはじめとする8教室を実施した。</p> <p>また、子ども向け事業として走り方教室や遊びながら学ぶプレイ&amp;スポーツを実施した。</p> <p>施設ホームページ・フェイスブックに加え、施設近隣地域へのチラシ折込み・地域ミニコミ誌に記事を掲載するなどソフト事業の周知を図り、参加者拡大に努めた。</p>	<p>○幅広い年代の方々が参加できるよう多様なプログラムとし、これらを都度利用という形態で提供した結果、参加者増加につながり、参加者から大変喜ばれた。</p> <p>○近隣地域住民へ直接アプローチのできる地域ミニコミ誌に記事を掲載したことで、ソフト事業への新規参加者の増加や施設のPR・認知度向上を図ることができた。</p>	S	<p>自主事業の内容を工夫し、新たな広報媒体により効果的なPRを行うことで、幅広い年齢層の参加を容易にし、地域住民への施設認知度を向上させた。</p>	S
④自主事業の実施	<p>日本武道館や県内武道団体と連携し、指導者の資質向上を目的とした指導者研修会の開催や、選手の競技力向上を目的とした錬成大会、競技会等を開催した。</p> <p>毎年開催している武道館まつりは、武道競技団体・近隣高校・商店街等、地元地域の協力のもと開催した。</p>	<p>○日本武道館や県内武道団体と連携し、開催した研修会においては、中央から講師を招き、指導を受けることで指導者としての心得を改めて学ぶ機会となり、参加者から好評を得ることができた。</p> <p>○武道館まつりにおいては、武道団体の演武をはじめ、近隣高校による演奏会など様々な催しに各種団体や地元商店街等の協力を得たことで、より地域に密着した事業とすることができた。大変好評であり、参加者も年々増加している状況である。</p> <p>また、地域住民に対しては、地域と共に生きる施設としてのアピールを強く行うことができた。</p>	S	<p>各種競技団体と連携して競技力向上のための研修会を実施するとともに、地域密着型の事業を展開することにより、新規利用者のほか、リピーター、将来的な利用者の増加等に努めている。</p>	A
⑤利用者サービスの向上	<p>利用者の要望や利便性を重視し、弾力的な運営を実施した。</p>	<p>○競技会等の利用時には開閉時間の延長や休館日の施設利用について積極的に対応することができた。</p> <p>○合宿所において連泊利用の際には浴室利用時間外にもシャワーを使用できるようにし、利用者の目線に立った施設提供をすることができ、前年度と比較したところ924名増加125%となった。</p> <p>○武道館1階男女トイレを洋式化し、利用者から大変好評を得ることができた。</p> <p>○武道館のロビーに設置しているベンチ椅子を更新し、利用者へ憩いの場を提供することができた。</p>	S	<p>利用者のニーズをくみ取り、きめ細かな対応をしている。</p> <p>施設設備についても、利用者の利便性向上のための工夫が見られる。</p>	S
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<p>利用者アンケートを継続的に実施し、窓口へ寄せられた要望を含め、対応が可能なものについては順次対応を行った。</p> <p>苦情は寄せられなかった。</p>	<p>○各施設の出入り口および武道館更衣室にベンチ椅子を新たに設置し、利便性の向上に努めることができた。</p> <p>○寄せられた要望等についても、速やかに内容を検討し、対応することができた。</p>	S	<p>利用者アンケートを継続実施するとともに、利用者の意見・要望で、対応可能なものについては、迅速に対応している。</p>	A
⑦安全対策	<p>消防点検結果に基づき、消防機器の修繕を行った。</p> <p>職員及び清掃等の委託業者を含め、指定管理者で策定した危機管理マニュアルに基づく内容で避難訓練を実施した。</p> <p>施設の管理運営に関する専門知識を習得する研修会への派遣を実施した。</p>	<p>○施設、設備の安全について、人的面・設備面の両面から確保することができ、安心・安全な施設の提供に繋げることができた。</p> <p>○駐車場内危険箇所3箇所新たに外灯を設置し、夜間における事故防止につなげることができた。</p> <p>○全職員が普通救命講習を修了し、AEDの操作方法等習得し、また、消火器の使用法や避難誘導方法を理解するとともに、緊急時に対応できるよう職員の知識や技能について向上を図ることができた。</p>	S	<p>危機管理マニュアルを作成した上で避難訓練を実施し、緊急時に備えている。仙台市の補助避難所指定により、今後は地域の防災組織とも連携した危機管理マニュアルが必要と思われる。</p> <p>また、心肺蘇生法等の研修会に参加することにより緊急時に対応が可能な人材の育成に努めている。</p> <p>危険箇所外灯を設置し、利用者の安全確保及び防犯対策を図った。</p>	A
⑧県民の平等利用	<p>競技団体の貸切利用については、ホームページに次年度の年間利用に関する情報を掲載し、県民の平等利用に努めた。</p> <p>また、次年度の利用希望については、指定管理者で策定した基準をもとに調整を行い、大会等の安定開催に努めた。</p> <p>個人利用については、利用拒否等の事例もなく、県民誰もが平等に利用できる管理運営を行った。</p>	<p>○指定管理者で策定した基準をもとに、県民誰もが公平に利用できる管理運営に努めることができた。</p> <p>○個人利用に関するトラブルもなく、誰もが平等に利用できる環境を提供することができた。</p>	A	<p>各種大会での貸切利用の日程をあらかじめホームページで公開することにより、個人利用者へのサービス向上に努めている。</p>	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	指定管理者独自の個人情報保護規定を策定し、個人方法の取扱いについて細心の注意を払うとともに、個人情報の取扱いについての考え方をホームページ上に掲載し、一般に公表した。  個人情報を管理しているシステムへのログインパスワードを定期的に変更し、不正アクセスや情報漏えい防止に努めた。	○個人情報の取扱いは、組織の規程を遵守し、細心の注意を払ったことで、漏えい等は発生せず、個人情報の保護を図ることができた。  ○個人情報を管理しているシステムへのログインパスワードを定期的に変更することで、各職員の個人情報保護に対する意識を高めることができた。	S	独自の個人情報保護規程を策定し、情報の漏洩、き損及び滅失の防止に努めた。個人情報の取り扱いについてホームページ上で公開し、利用者への配慮が見られた。	A
⑩利用実績	上記「4. 施設利用実績」のとおり	○無料観客を含め全体で96,705人、前年度と比較したところ、クライミングウォールの休止はあったものの230人増加、100.2%の状況であった。特に合宿所においては県内外問わず、学校の長期休業期間における合宿・遠征等で多く利用されたことで利用の拡大につながった。	S	クライミングウォールの休止により利用者が減少したが、スポーツ合宿の積極的誘致により、利用者が大幅に増加した。	S
⑪収支実績	上記「5. 管理運営収支実績」のとおり	○平成27年度計画に対し、収入は102.7%、支出については99.4%であり、適切かつ計画どおりの執行とすることができた。	A	自主事業の開催・広報等により、利用料収益の増加に努めている。 また、経費の削減に努め、必要な修繕を行っている。	A
⑫その他の取組	武道館が地域防災計画に定める避難所として指定され、地域住民、関係機関と連携を図った。  廃棄物について3Rの基本理念に沿った適正な処理を行い、環境配慮に努めた。	○避難所として必要な備蓄倉庫の設置、地域住民の施設見学等に協力することができた。  ○管理者として、ゴミ発生量の削減やエコマーク対象製品の使用及び節電節水等の省エネルギーに努めることができた。	A	仙台市の補助避難所として指定され、地域の防災計画に協力している。 「わが社のe行動 (eco do!) 宣言」を行った上で、環境に配慮した取り組みとして、エコマーク商品の利用や、ゴミ排出削減等に努めている。	S
総合評価		○武道を中心とした各種競技会等への貸館をはじめとする施設管理運営業務においては、県民の皆様へ安全で安心な施設提供を行うことができた。  ○自主事業においては幅広い年齢層の方々に見合ったプログラムを展開し、充実した内容により参加者数の増加につなげることができた。  ○武道の振興に寄与する施設として、指導者向けの研修会、選手の競技力向上を目的とした錬成大会を開催し、その役割を担うことができた。	S	多種多様な自主事業の開催・広報等により、利用者数並びに利用料収益の増加、経費削減に努めている。事業計画の範囲内で必要な施設整備を行った。 また、自主事業の中で、県民が武道に親しむ機会を提供するなど、武道の振興に貢献している。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	施設の老朽化が進行しているため、建物の長寿命化を図るためにも施設及び設備の修繕・更新等については、県と密に連携を取りながら、安心・安全な施設を提供していくことが今後の課題である。	今後も武道振興に寄与する施設として、先駆けた指導者講習会、青少年への普及事業に取り組んでいただく一方で、武道に限らない多目的な利用で県民の多様なニーズに応え、地域に根ざした施設を目指していただき、将来的な武道人口の増加に繋がることを期待している。 また、老朽化した施設・備品の修繕及び更新を、安全性を第一に、かつ費用対効果を考慮した上で、中長期的に実施する。

5. 自主事業収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】(二)

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
事業費	3,972	2,785	3,355	84.5%	120.5%
参加料収入	1,498	1,738	1,715	114.5%	98.7%
収入計 (a)	5,470	4,523	5,070	92.7%	112.1%

(2) 支出

人件費	1,070	837	798	74.6%	95.3%
施設管理費	2,303	2,797	2,108	91.5%	75.4%
事業運営費	2,097	889	2,164	103.2%	243.4%
その他					
支出計 (b)	5,470	4,523	5,070	92.7%	112.1%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	0	0		
前期繰越収支差額	0		0		
次期繰越収支差額	0		0		

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。